

# 私のハマった

3冊

選者  
ばるばる

## 出版の未来について ぼんやり考えていたときの3冊

選者プロフィール

ネットワーカー。最近、NYLON100%（エアスベクト）という本に関わっています。



### 〈盗作〉の文学史

著 栗原裕一郎  
新曜社 3990円

ニューヨークではついに新品のCDを売る店がなくなり、店舗はコレクターやマニア向けのレコードショップしか残っておらず、

若者はネット経由のMP3データ販売に移行している、という話を聞いたのは今年の初めだった。もともと盤という容器に音の情報が入ってるだけだから、中身さえ手に入れば容器はいらない、という人が音楽の分野では増えているわけだ。

この波は出版にもまもなく訪れるだろう。そのとき使われる

フォーマットはテキスト埋め込みのPDFだと思う。電子書籍が一向に普及しなかったのはメモリーの独自形式の押し売りだったからで、すでに普及していて、紙のレイアウトを保持しつつ、文章データも格納できるPDFが最終的に見直され、iPhoneやニンテンドーDSで新刊のPDFを皆が読むようになる、と予想している。出版を変えるのはOCR技術の発展とブックスキナーの低価格化、そしてPDFリーダーの普及である。

無名作家の作品よ  
連続3週刊

著 栗原裕一郎  
新曜社 3990円

### 堂々と寄稿や発行

明治大正代作者の多くは、秘蔵の原稿を出版し、堂々と寄稿や発行を行っていた。これは、当時の文壇が、盗作を容認していたからである。盗作は、秘蔵の原稿を出版し、堂々と寄稿や発行を行っていた。これは、当時の文壇が、盗作を容認していたからである。

### 〈盗作〉の文学史

著 栗原裕一郎  
新曜社 3990円